

# CaridianBCT買収資金の再調達と 自己株式消却について

テルモ株式会社  
執行役員 経営企画室長

羽田野 彰士

2011年 10月27日

---

■ 手持ち資金と負債調達による手当て

■ 自己株式の消却

# 買収資金の再調達

---

## ■ 外部環境認識

- 欧州財政・金融問題
- 米国・中国景気リスク



買収資金は手持ち資金と  
負債調達で手当て

# 短期借入2200億円の再調達

- 手持ち資金 300億円
- 負債調達 1900億円
- 3年後の財務状況

	12/3期 上期	14/3期 期末
ネットD/E Ratio	0.4	0.2
自己資本比率	48%	58%

# 自己株式消却

---

保有する20,996千株全ての消却を  
10月27日の取締役会で決議

## ■ 自己株式保有の理由

- 経営環境の変化に対応した、機動的な資本政策の遂行

## ■ 買収資金は手持ち資金と負債調達で手当て

- 当面は自己株式活用のお機はない

2012年3月期 上期  
決算概要

# 決算概要(上期)

(億円)

	11/3期 上期	12/3期 上期*	増減率
売上高	1,639	1,907	+16%
粗利益	856 (52.2%)	1,031 (54.1%)	+21%
販管費	529 (32.2%)	685 (35.9%)	+30%
営業利益	327 (20.0%)	346 (18.2%)	+6%
(のれん償却除く)	335 (20.4%)	384 (20.2%)	+15%
経常利益	282 (17.2%)	313 (16.4%)	+11%
純利益	184 (11.2%)	177 (9.3%)	-4%

期中平均レート      US\$ 89円      80円  
 EUR 114円      114円

\*BCT:4~9月、Harvest:5~9月実績を連結

# BCTの決算概要(上期)

## 好調な業績持続

(億円)

	12/3期 上期	増減率 (為替影響除く)
売上高	228	+13%
粗利益	142 (62.2%)	+12%
販管費	84 (36.6%)	+15%
営業利益	58 (25.6%)	+ 8%
経常利益	56 (24.6%)	
純利益	33 (14.5%)	

新規のれん、無形資産償却を除く



# 既存事業の決算概要(上期)

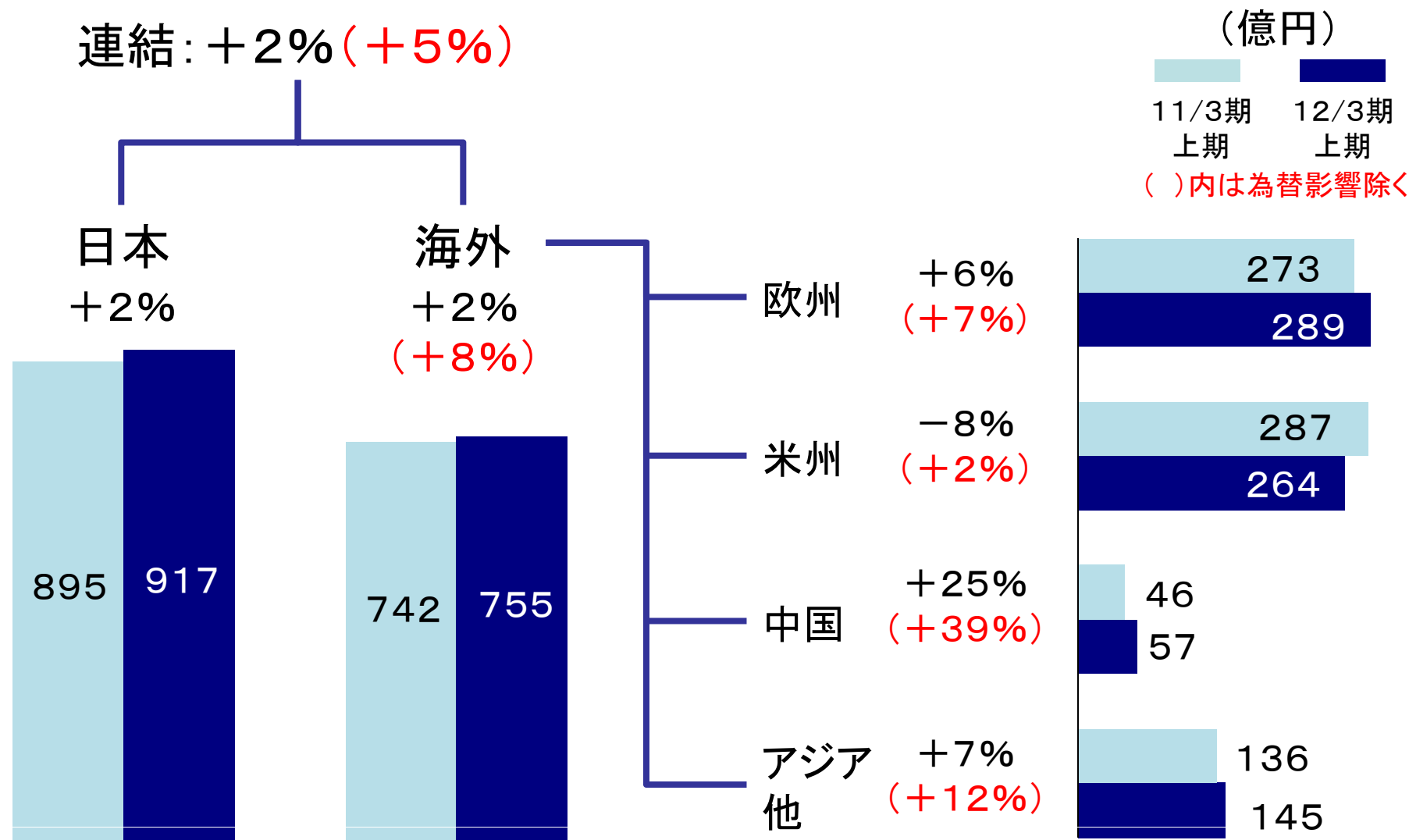
## 堅調に増収・増益確保

(億円)

	11/3期 上期	12/3期 上期	増減率	為替影響 除く
売上高	1,639	1,672	+2%	+5%
粗利益	856 (52.2%)	884 (52.9%)	+3%	+8%
販管費	529 (32.2%)	538 (32.2%)	+2%	+4%
営業利益	327 (20.0%)	346 (20.7%)	+6%	+13%
経常利益	282 (17.2%)	316 (18.9%)	+12%	
純利益	184 (11.2%)	193 (11.5%)	+5%	

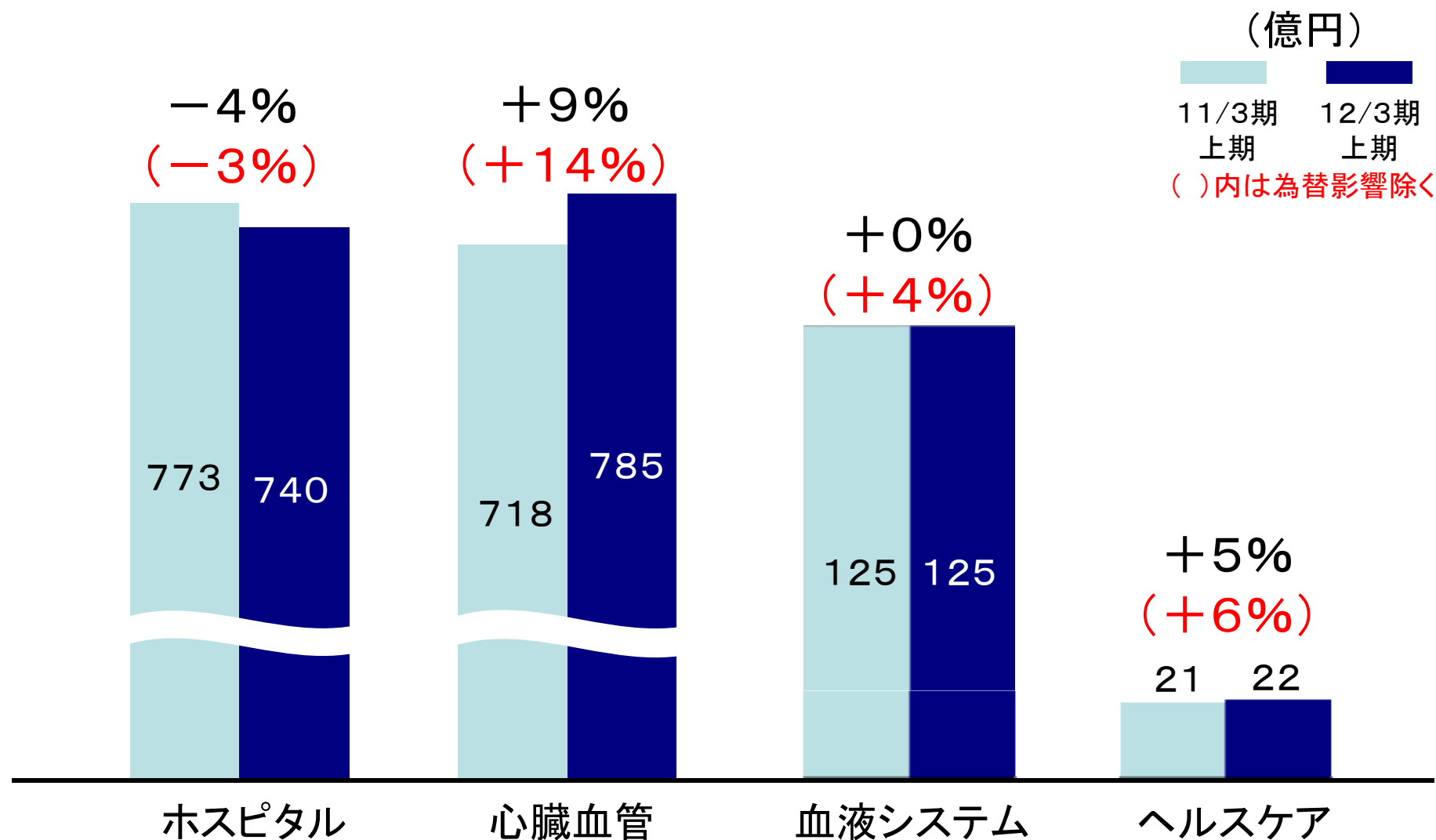
新規のれん、無形資産償却を除く

# 売上高(地域別)

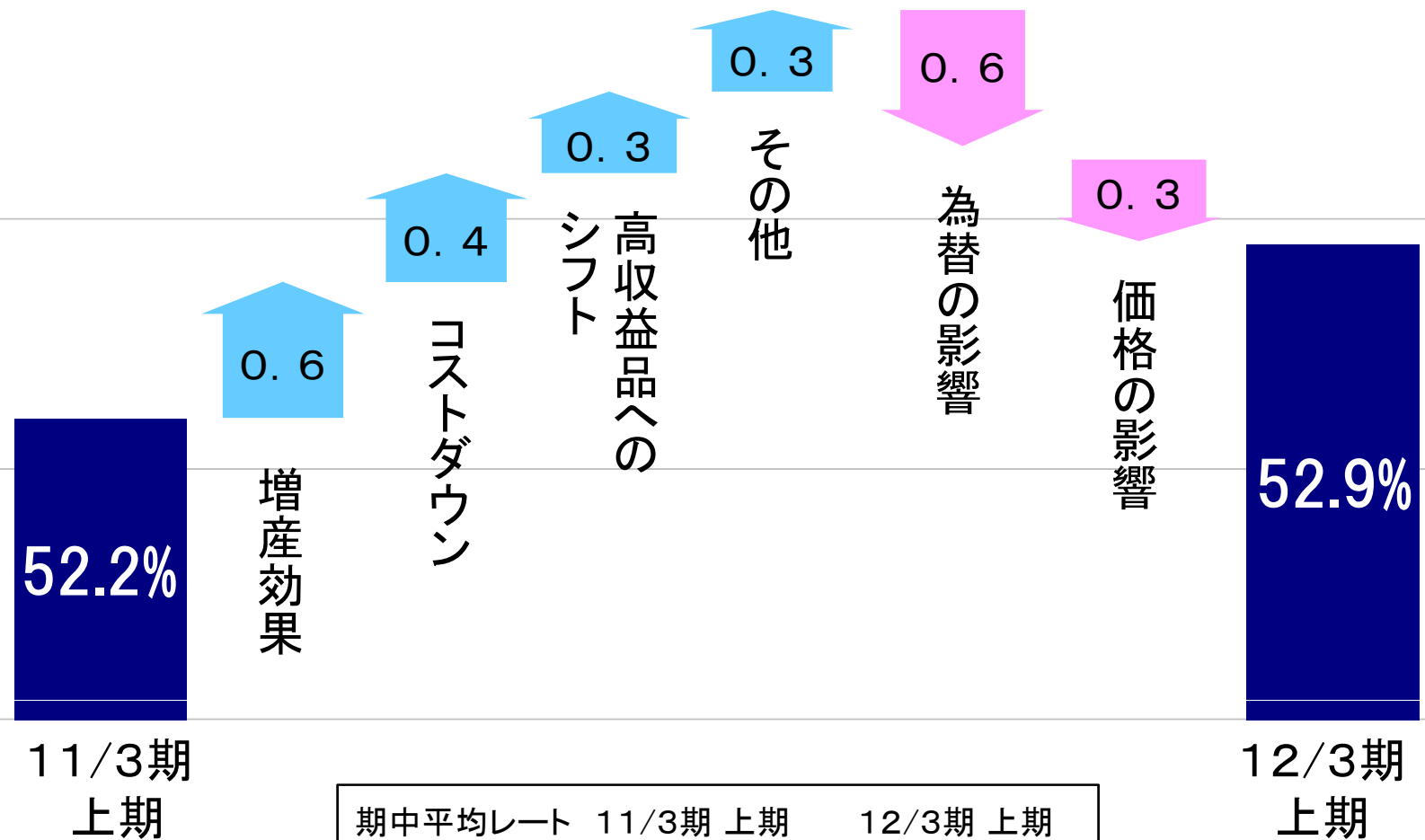


\*アジアは4-9月で統一

# 売上高(事業セグメント別)



# 粗利益率差異分析



期中平均レート	11/3期 上期	12/3期 上期
US\$	89円	80円
EUR	114円	114円

# 販管費

(億円)

	11/3期 上期		12/3期 上期		増減	増減率
人件費	195		195		+0	+0%
販促費	51		52		+1	+1%
物流費	47		51		+4	+8%
償却費	23		23		+0	+0%
その他	115		119		+4	+3%
<b>一般管理費計</b>	<b>431</b>	<b>(26.2%)</b>	<b>440</b>	<b>(26.3%)</b>	<b>+9</b>	<b>+2%</b>
<b>研究開発費</b>	<b>98</b>	<b>(6.0%)</b>	<b>98</b>	<b>(5.9%)</b>	<b>+0</b>	<b>+0%</b>
<b>販管費合計</b>	<b>529</b>	<b>(32.2%)</b>	<b>538</b>	<b>(32.2%)</b>	<b>+9</b>	<b>+2%</b>

( )内は対売上高%

# 震災の影響

- 供給不足による他社品への切り換え、開発の遅れ、市場縮小を想定

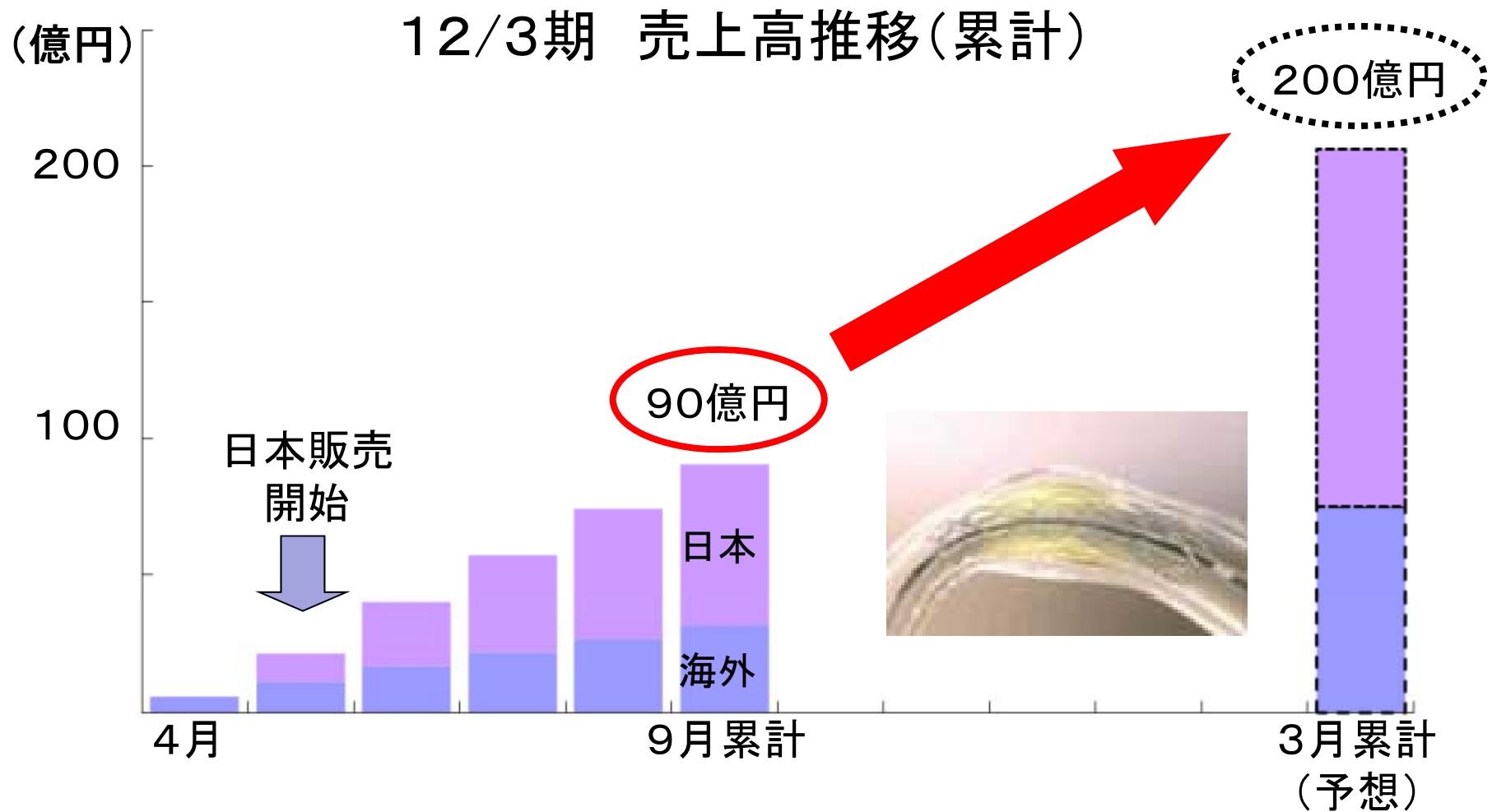
(億円)

12/3期	5月11日 期初 見込み	7月28日 業績予想 修正	上期 実績	下期 見込み
売上	-100	-70	-40	-30

7月28日業績予想修正時に見込んだ額で推移

# ノボリ®好調

## 今期グローバル200億円達成に向け順調



# CV事業強化に向け品質システムを再構築

- FDAがTCVS社アナーバー工場の品質システム運用に改善要求
- 2011年3月、TCVS社とFDAの間で和解成立(コンセントディクリー)
- FDAとの合意に基づく改善計画策定(2011年9月FDA承認)

+

さらに将来に向けた自主的なシステム強化

(億円)

12/3期 収益影響	年間見込み	上期実績	下期見込み
追加コスト	34	8	26



# 通期業績への影響

(対従来業績予想)

■ 売上高： -70億円

- 下期想定為替レート変更 -70億円  
(US\$80円→75円、EUR113円→103円)

■ 営業利益： -44億円

- 下期想定為替レート変更 -23億円
- CV事業品質システム強化 -34億円
- 経費効率運用ほか +13億円

# 2012年3月期 通期業績予想

為替、品質改善の影響を反映し予想を修正

(億円)

	従来予想	修正予想	修正額
売上高	3,900	3,830	-70
営業利益	670 (17.2%)	626 (16.3%)	-44
経常利益	650 (16.7%)	580 (15.1%)	-70
純利益	385 (9.9%)	325 (8.5%)	-60
のれん償却 除く	営業利益	746 (19.1%)	700 (18.3%)
	純利益	461 (11.8%)	399 (10.4%)

想定レート	下期		通期	
	US\$	80円	80円	75円
EUR	113円	113円	103円	108円

# 参考資料

# 決算概要(上期)

## 前年プロフォーマ比較でも増収・増益

(億円)

	前年同期 プロフォーマベース*1	12/3期 上期	増減率
売上高	1,874	1,907	+2%
粗利益	1,004 (53.6%)	1,031 (54.1%)	+3%
販管費	681 (36.3%)	685 (35.9%)	+1%
営業利益	323 (17.3%)	346 (18.2%)	+7%

期中平均レート      US\$ 89円      80円  
 EUR 114円      114円

(\*1)BCT/Harvest含む

# 決算概況（対上期見通し）

	<u>上期見通し</u>	<u>上期実績</u>	<u>差異</u>	(億円) <u>為替影響</u>
売上高	1,910	1,907	-3	+2
営業利益	327 (17.1%)	346 (18.2%)	+19	+1
経常利益	315 (16.5%)	313 (16.4%)	-2	
純利益	185 (9.7%)	177 (9.3%)	-8	

---

為替レート(US\$)	80円	80円
(EUR)	113円	114円

# 決算概況（対年間見通し）

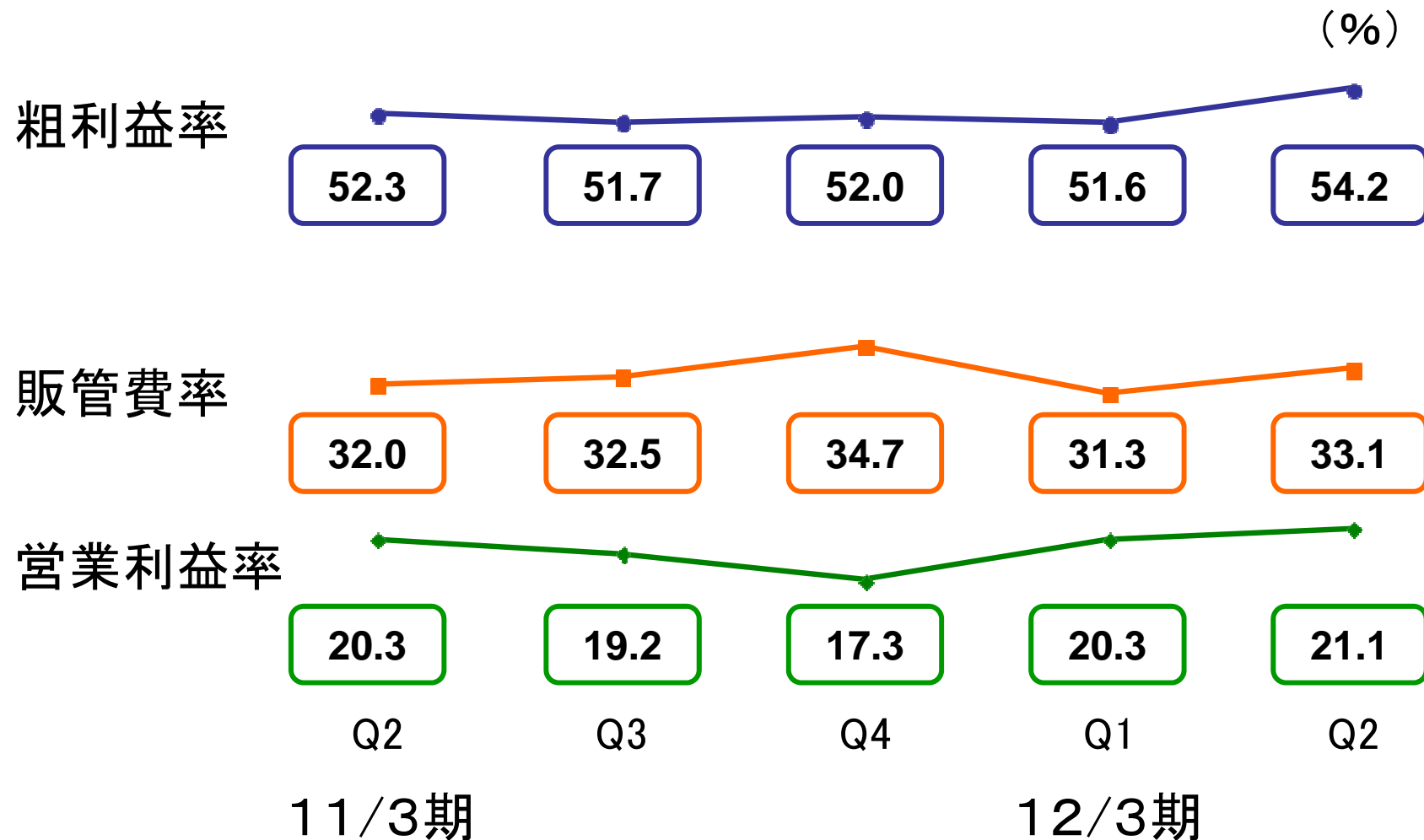
(億円)

	<u>年間見通し</u>	<u>上期実績</u>	<u>進捗率</u>
売上高	3,830	1,907	50%
営業利益	626 (16.3%)	346 (18.2%)	55%
経常利益	580 (15.1%)	313 (16.4%)	54%
純利益	325 ( 8.5%)	177 ( 9.3%)	54%

---

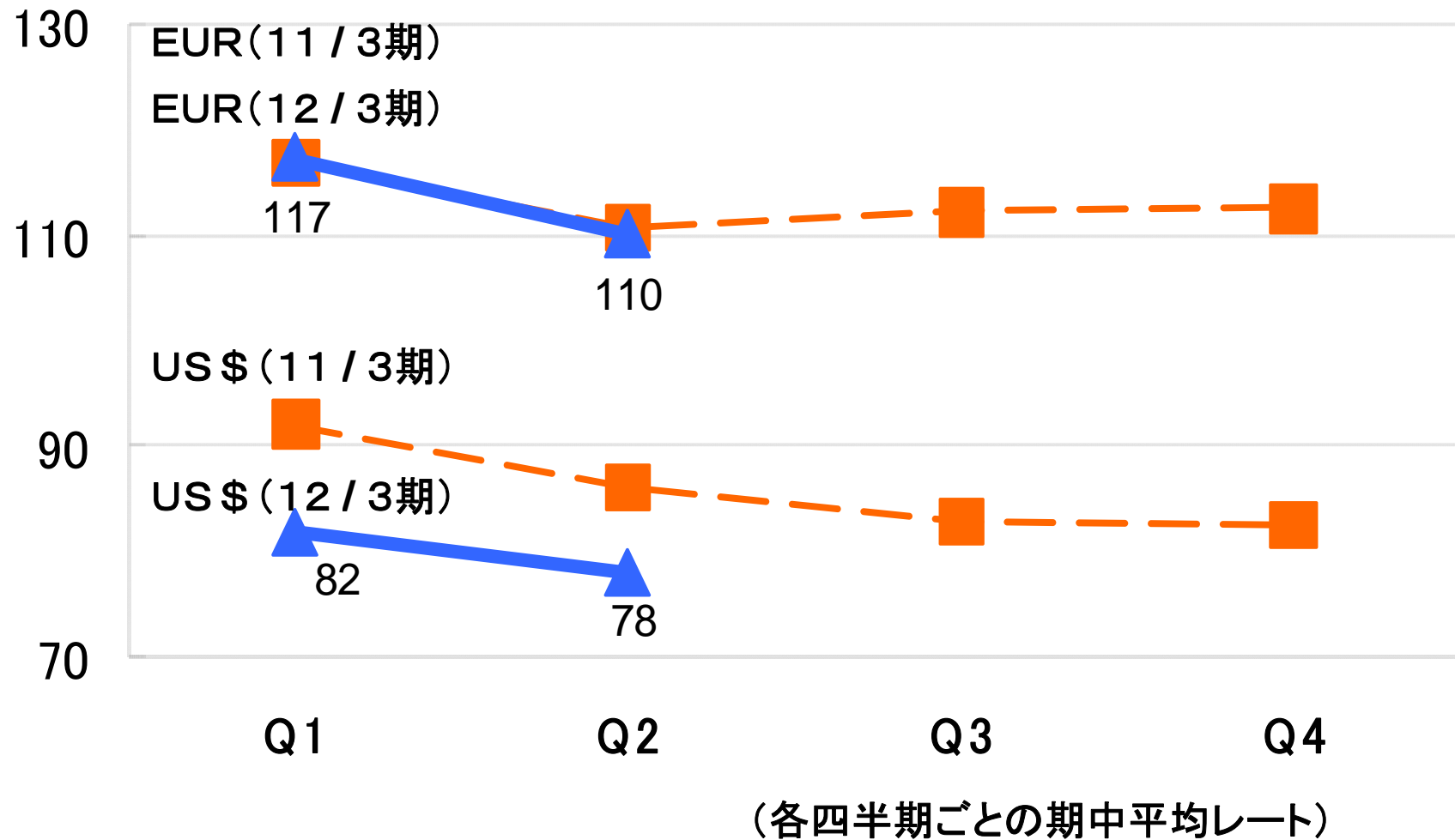
為替レート(US\$)	77円	80円
(EUR)	108円	114円

# 粗利益率、販管費率、営業利益率



(各四半期の3ヶ月単位)

# 四半期平均為替レートの推移





# おことわり

---

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。